

文化価値創造を意図する

文化資産と教育の融合

第十九回 全国大会
和 文化 教育
京 都 大 会

和 文化 教育 学 会

日 程 令和四(二〇二二)年十一月五日(土)・六日(日)

場 所 同志社大学 新町キャンパス

京都市上京区新町通今出川上ル段倉殿表町一五九-一

【11/5(土)】 研究・実践発表 基調講演 シンポジウム

受 付 《 9:00~ 》
開 会 行 事 《 9:30~ 9:45 》
開会アトラクション 《 9:45~ 10:05 》
研究・実践発表 《 10:15~ 12:25 》

煎茶接待・紙漉き体験 《 12:30~ 13:45 》

理 事 会 《 12:30~ 12:50 》
結 会 《 12:55~ 13:15 》
基 調 講 演 《 13:45~ 14:45 》

シンポジウム 《 14:50~ 17:00 》

閉 会 行 事 《 17:10~ 17:30 》

導真館(じんしんかん) **1階ロビー**
大会実行委員長挨拶 学会会長挨拶 **221**
京都光華中学校・高等学校(映像出演) **221**
第1分科会 **224** 第2分科会 **226**
第3分科会 **228** 第4分科会 **229**
第5分科会 **227(エントランス)**
小笠原煎茶道・同志社大学煎茶道部 **カフェ222**
紙漉き部: 田村 正氏 **220**

223
221
文化価値創造を意図する文化資産と教育の融合 **221**
八木 透(佛教大学:京都文化学会会長・教團総務会幹事)

文化価値創造を意図する文化資産と教育の融合 **221**
司 会: 関 浩和(兵庫教育大学・本学会理事)

小林 隆(佛教大学)
シンポジスト: 芳野 明(龍谷大学佛経宮内会、嵯峨美術大学)
中西 仁(立命館大学)
今井 大介(京都市立西野小学校)
田中 真子(龍山山園園寺芸術)

コメンテーター: 八木 透(佛教大学)
中村 哲(龍山学院教育大学・本学会会長)

大会事務局長挨拶 学会理事長挨拶 **221**
次期大会開催代表挨拶

【11/6(日)】 遠検: 嵯峨嵐山から清涼寺へ 嵯峨大念佛狂言保存会による実演・解説・体験等

主 催 第19回和文化教育全国大会(京都大会)実行委員会 和文化教育学会

協 賛 文部科学省 京都府教育委員会 京都市教育委員会 京都新聞社 日本教育新聞社

【和文化教育学会事務局】 7673-1494 兵庫県姫路市下久米942-1 兵庫教育大学 館 502 Home Page: <https://www.iawoce.org/>

令和4(2022)年度 第19回和文化教育全国大会(京都大会)要項

1：開催趣旨

京都は有形・無形の文化資産の宝庫であり、それらの文化資産を活用した数多くの教育実践が、学校（園）教育や生涯学習・社会教育の場においてなされている。今大会では、学会の教育実践者と研究者に加え、文化資産に関する宗教学、歴史学、民俗学等の専門家や文化資産に関心を持つ一般参加者と共に「和文化教育」についての意見交流を行い、新たな文化価値創造を目指して実践・研究の深化・展望を図るものとする。

2：テーマ

文化価値創造を意図する文化資産と教育の融合

3：主催・後援

主催 第19回和文化教育全国大会（京都大会）実行委員会 和文化教育学会
 後援 文部科学省 京都府教育委員会 京都市教育委員会
 京都新聞社 日本教育新聞社

4：開催地及び会場

同志社大学 新町キャンパス

〒602-8580 京都市上京区新町通今出川上ル近衛殿表町159-1

アクセス

京都市営地下鉄
 「今出川」駅から
 徒歩約10分



5：日程

【11月5日（土）】 研究・実践発表 基調講演 シンポジウム

9:00	9:30 ～9:45	9:45 ～10:05	10:15 ～12:25	12:30～13:40	13:45 ～14:45	14:50 ～17:00	17:10 ～17:30
受付 専員ロビー	開会行事 221	開会挨拶 京都大学・同志社大学・高野学校	研究・実践発表 第1分科会 第5分科会	昼食 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500	基調講演 文化価値創造を意図する 文化遺産と教育の融合	シンポジウム 文化価値創造を意図する 文化遺産と教育の融合	閉会行事

研究・実践発表

第1分科会 224 第2分科会 226 第3分科会 225
 第4分科会 229 第5分科会 227, 249, 231

グローバル文化シンボル「鯉のぼり」プロジェクトコーナー 専員ロビー受付付近 26

【11月6日（日）】 巡検：嵯峨嵐山から清涼寺へ

9:00 JR 嵯峨嵐山駅集合 清涼寺まで嵯峨嵐山を散策
 9:30～12:30 嵯峨大念仏狂言保存会による実演・解説・体験（狂言クラブ）
 12:30 清涼寺にて解散

グローバル文化シンボル「鯉のぼり」プロジェクト協力者の作成鯉のぼり



星原を旗として
フアンションジウム=

山新 智雄



ほほいこも書大井 晴雄さん=

梶田 敬二



Mind of Wia

中村 哲

1. 研究・実践発表《10:15～12:25》〔発表20分 質疑5分〕

第1分科会 司会：五百住 清（名古屋大学）・谷本 寛文（京都府立女子大学）

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 伝統に取り込む私たちの思い
—日本の伝統部が考える文化価値創造— | 金子 香穂里
竹市 任代（京都府立西宮高等学校附属中学校） |
| 2 汎用的調査・能力を育成する伝統文化教育のカリキュラム開発 | 谷本 寛文（京都府立女子大学）
太田 早紀（京都府立高等学校） |
| 3 情懷を伝える和漢洋詩の方法「言語技術教育」
—言語能力の育成が文化の伝承につながる— | 北村 高江（アール・ブルグ公立国際中等教育学校） |
| 4 双六の教育的活用
—遊びと発見から学ぶ様々な双六形態— | 谷 明子（文部省総合教育政策推進課） |
| 5 竹人形文楽を活用した教育プログラム試案
—協働する力の育成を中心にして— | 岡村 文徳（京都府立大学） |

第2分科会 司会：余郷 裕次（神戸大学）・春川 直樹（法政大学）

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1 学校と地域がつながる伝統文化に関わる学習の実践について | 原田 裕子（京都府立上田高等学校） |
| 2 和文化和子どもをつなげる社会科の学習展開 | 森元 元（京都府立西宮高等学校） |
| 3 手あそびと子どもの育ち | 野村 宗嗣（神戸大学） |
| 4 和文化教育としての「書き初め」について | 河島 由哉（神戸大学） |
| 5 東京大学幼稚園における毛筆書字教育について | 福井 淳哉（神戸大学） |

第3分科会 司会：新山 潤平（山梨大学）・松岡 清（京都女子大学）

- | | |
|---|-------------------|
| 1 幼児のわらわらした遊びから生じる創造性
—文化的な価値の表出とその働き— | 廣野 まゆ美（山梨大学大学院） |
| 2 身近な自然から広がる表現の幅 | 夏目 佳子（山梨大学） |
| 3 「伝統の創造」論から探った教育実践上の諸課題 | 藤澤 彰紀（京都府立伏見高等学校） |
| 4 伝統文化を身近に保てる社会科「今に伝わる室町文化」の実践 | 久松 悠介（京都府立西宮高等学校） |
| 5 小学校社会科教科書の内容をもとにした和文化教育実践の可能性 | 佐藤 正寿（山梨大学） |

第4分科会 司会：清原 哲（山梨大学）・西藤 慎司（法政大学）

- | | |
|--|------------------------------|
| 1 和文化教育における博物館活用の可能性 | 西亮 慎司（法政大学）
坂本 晴香（法政大学学生） |
| 2 峰巒・嵐山の文化資源を活用した教育実践について | 青木 祐二（京都府立山城高等学校） |
| 3 新たなビジネスの創造を学ぶビジネスデザイン学部での「日本を知る」の授業の取り組み | 桐葉 莉（岡山学院大学） |
| 4 古き世へのまなざし
—近世以降の祭祀・伝承・芸能を手がかりに— | 久松 宗俊（京都府立女子大学附属女子学院） |
| 5 無形文化遺産の映像記録の歴史と教育的活用
—民俗芸能撮影を中心に— | 高橋 利彦（山梨大学） |

【オンライン】〔発表15分 質疑5分〕

第5分科会 司会：岡崎 均（法政大学）・柳井 大輔（法政大学）

- | | |
|---|---|
| 1 真の国際人教育「英語を話す人材より、英語で日本を語る人材を！」 | 吉田 翔大（法政大学）
高野 悠太（法政大学） |
| 2 遠徳科における評判伝承の導入
—中学を対象とした伝統文化理解と伝承意識に資目して— | 井上 寿美（法政大学）
八木 利津子（岡山学院大学） |
| 3 グローバル文化価値形成を意図する伝統文化教育のウェブ教材開発
—鯉のぼり教材を事例にして— | 中村 哲
デッカー・ウォーレン
守谷 富士彦（岡山学院大学）
柳井 大輔（法政大学） |
| 4 わび茶の教材化に関する基礎的研究 | 柳井 大輔（法政大学） |
| 5 世界に広がる俳句の魅力
—英語の俳句を視点に— | デッカー・ウォーレン（岡山学院大学） |
| 6 子どもの創作俳句作品の特徴とその指導についての検証
—法政大学小学生俳句大賞に寄せられた作品の分析を通して— | 青崎 弘幸（法政大学） |

2. 基調講演《13:45～14:45》

文化価値創造を意図する文化資産と教育の融合

八木 透（法政大学：京都府学芸会会長、京都府観光振興会理事長）

3. シンポジウム《14:50～17:00》

文化価値創造を意図する文化資産と教育の融合

司 会：關 浩和（兵庫教育大学・本学企画部長）

小林 隆（法政大学）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| シンポジスト：文化資産継承者の立場から | 芳野 明（法政大学） |
| 文化資産研究者の立場から | 中西 仁（立命館大学） |
| 和文化教育実践者の立場から | 今井 大介（京都府立西宮高等学校） |
| 和文化教育研究者の立場から | 田中 直子（岡山学院大学） |

コメンテーター：八木 透（法政大学）

中村 哲（岡山学院大学・本学会長）

7：大会WEBサイト

「第19回和文化教育全国大会（京都大会）」の「第19回大会サイト」(<https://wabunka.online/>)を開設します。本サイトのURLとQRコードから大会内容の閲覧と大会参加の申込みが可能です。



8：参加申込み方法

大会参加希望の方は、上記WEBサイトからの申込みをお願いします。なお、「第19回大会サイト」の利用が難しい方は、大会事務局・小林隆（koba-t@bukkyo-u.ac.jp）まで、下表の「大会参加申込書」の内容をメールでお送りください。同時に下記項目9・10をご覧いただき、参加費の送金をお願いいたします。なお、入金後の返金はできませんので、ご了承ください。

9：参加費

会員・会員外：2,500円（10月22日までの申込み）
会員・会員外：3,000円（10月23日以降の申込み）
京都府・京都市学校関係者：1,000円（発表者は「会員外」の扱いとなります）
学部学生：無料
※プロジェクト支援：1口500円（口数に応じて鯉のぼりを進呈します）
<https://www.rawace.org/project.html/>

10：参加費等の送金先

※大会申込みとは別に、参加費を次の銀行口座に振込をお願いします。
（銀行振込口座） みなと銀行 社支店（店番 325）
普通口座 3817159
和文化教育学会
（参加費振込は、必ず個人名でお願いします。なお、学会費は別の郵便振込口座への送金になります。）

11：大会連絡先

第19回和文化教育全国大会（京都大会）実行委員会事務局
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96 佛教大学 小林 隆
メールアドレス：koba-t@bukkyo-u.ac.jp

12：感染予防のお願い

新型コロナウイルス感染症対策として、「体温測定」「不織布マスクの着用」「こまめな手洗い・手指消毒」等のご協力をお願いします。当日の体温測定にて37.5度を超えた場合は、参加をお断りすることがあります。また、大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症の罹患が確認された場合、上記「大会連絡先」への報告をお願いいたします。懇親会・情報交換会の実施は見送ります。

キ リ ト リ

【メール等での参加申し込みの方は、下表の内容を大会連絡先までご連絡ください】

大会参加申込書	氏名(フリガナ)		
	お名前・所属	お名前	所属
	連絡方法	電話	メール
	送金内訳	「9：参加費」をご参照ください。	
送金合計額	円		

※お申込みの際の個人情報、当該の目的のみに使用させていただきます。